

作成日	令和8年7月14日

工事名称 市営安堀住宅解体工事

工事場所 市営安堀住宅

履行完了日 令和8年12月15日

予算執行課 建設部住宅課

設計・監理 建設部建築課

(工事価格)

審査者	審査者	設計者						

工事概要

本工事は、市営安堀住宅におけるCB造の4棟(2-1棟、2-2棟、2-3棟、2-4棟)を解体し、整地を行う工事です。

- ・ 構造 : CB造平屋建て
- ・ 解体延べ床面積 : 436㎡
- ・ 整地面積 : 1,682㎡

名	称	数	量	単位	金	額	備	考
直接工事費								
建築工事			1	式				
計								
共通費								
共通仮設費			1	式				
現場管理費			1	式				
一般管理費等 (契約保証金含む)			1	式				
計								
工事価格 (週休2日月単位補正)			1	式				
消費税等相当額			1	式			消費税率 10 %	
工事費			1	式				

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

解体工事		建物解体工事				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
CB造平屋建 鋼板葺住宅	2-2棟、2-4棟					
残置物仕分け・積込		6	m ³			
臭突管撤去	石綿含有(レベル3)	8	本			
軒天撤去	石綿含有(レベル3) フレキシブルボード	69.4	m ²			
ビニル床シート撤去		17.1	m ²			
畳撤去		84	枚			
内部造作撤去		249	m ²			
建物上屋解体		249	m ²			
基礎コンクリート撤去		249	m ²			
CB造平屋建 鋼板葺住宅	2-1棟、2-3棟					
残置物仕分け・積込		4	m ³			
臭突管撤去	石綿含有(レベル3)	6	本			
軒天撤去	石綿含有(レベル3) フレキシブルボード	52.4	m ²			
畳撤去		63	枚			
内部造作撤去		187	m ²			
建物上屋解体		187	m ²			
基礎コンクリート撤去		187	m ²			
計						

解体工事		外構撤去工事				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
木造波板張り 倉庫撤去	W1800×D1800 H2000	1	式			
木造波板張り 庇撤去	W6300×D2700 H2700	1	式			
木造合板張り 倉庫撤去	W1400×D1400 H1000	1	式			
木造波板張り テラス撤去	W6150×D1630 H2700	1	式			
軽量鉄骨造金属サイディング張り 倉庫撤去	W2710×D2710 H2400	1	式			
木造サイディング張り テラス撤去	W2750×D4300 H2700	1	式			
木造波板張り 庇	W3550×D2800 H2700	1	式			
樹木伐採・伐根		38	m ³			
雑草処理		950	m ²			
アスファルト舗装撤去		247	m ²			
外灯撤去	南東 H=4.5m	1	本			
便槽撤去		14	か所			
雑排処理槽撤去		4	か所			
荒整地		1,682	m ²			
碎石敷均し	t50 他現場から碎石転用小運搬共	1,682	m ²			
閉鎖工	単管パイプ H=1.5m@3000 2段材工共	174	m			
計						

[illegible]

解体工事		分水栓止め工事				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
分水止め工	本管サドル止め	1	式			
給水管撤去工	一次側配管	96.5	m			
宅内掘削埋戻し工		92	m			
メーター器撤去		1	式			
舗装切断工		1	式			
舗装版切断破碎	バックホ直接掘削・積込	1.3	m ²			
アスファルト塊運搬処理		0.1	m ³			
発生土運搬・処理	場内敷き均し	1.1	m ³			
人力掘削工		0.9	m ³			
機械掘削工		0.5	m ³			
埋戻し工	砂	0.5	m ³			
埋戻し工	再生切込砕石(RC40)	0.5	m ³			
埋戻し工	粒調砕石(M30)	0.5	m ³			
仮復旧	市道	1.3	m ²			
本復旧	市道	3.2	m ²			
硬質塩化ビニル管	HIVP20A	2	m			
硬質塩化ビニル管	HIVP25A	14	m			
硬質塩化ビニル管	HIVP30A	17	m			
同上継手接合材		1	式			
同上支持金物		1	式			

[illegible]

施工条件明示

工事名称：市営安堀住宅解体工事

施工条件明示の表記

- ☒ 印の付いたものを適用する。

工程関係

- ☒ 1. 本工事は、監督職員等と十分協議の上施工に当たり、工事を進めていくうえで、手もどりの無いよう工事を管理すること。
- ☒ 2. 工事は、施設の業務に支障の無い様、監督職員及び予算執行課と詳細打合せを行った上、工程を協議し施工すること。
- ☐ 3. 施設の休業日は休工とすること。
- ☒ 4. 工事の施工は、原則、平日に行うものとする。休日等に施工を行う場合は、事前に監督職員及び予算執行課の承認を得ること。又、前述の条件による。
- ☒ 5. 社会情勢により本工事に使用する資機材の入手に通常想定される日数を超える日数を要し、履行期間内での完成が困難と判断される場合は、速やかに監督職員と協議を行うこと。また、この場合において、受注者からの申し出により現場代理人の常駐義務の緩和、および配置技術者の工事現場への専任を要しない期間の適用について、協議を行うことができることとする。なお、履行期間の延長による請負代金額の変更は行わない。

用地関係

- ☒ 1. 設計図書による設計 G.L.については、監督職員と十分協議の上、施工すること。
- ☒ 2. 施工のための仮用地等として、施工者が市有地を使用する場合は、仮設計画書にて許可を受けた後、使用すること。

公害関係

- ☒ 1. 周辺に住宅等有る場合、工事施工に伴う公害（騒音・振動・粉塵等）については近隣に迷惑がかからぬよう必要な措置を講じること。又、周辺施設等の運営に支障のある場合は、関係者と事前の打ち合わせを行うこと。
- ☒ 2. 夜間作業は基本的に禁止である。

安全対策関係

- ☒ 1. 安全対策における講習・訓練などを実施すること。
- A) 安全管理活動による講習を実施すること。
- B) 労働安全衛生法・労働基準法・労働安全衛生規則の周知徹底を図ること。特に、有害化学物質には十分注意する。
- C) 本工事現場で起こりうると想定される事故に対し防護策を講じること。特に、利用中の施設では十分配慮する。
- ☒ 2. 災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先すると共に、二次災害防止に努め、その経緯を監督職員に速やかに報告すること。又、緊急連絡体制等を整備し現場で掲示するなど、必要な対応も行っておくこと。
- ☒ 3. 現場代理人の兼務を認めた場合、いずれかの現場に常駐したうえで、安全管理に不徹底がないよう一層配慮すること。
- ☒ 4. 工事で設置する足場については、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の（2）手すり据置き方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行うこと。又、高所作業等を行う場合、墜落防止措置を徹底すること。
- ☒ 5. 工事対象となる既存建材が石綿を含有する場合、旧特定化学物質等作業主任者又は石綿作業主任者を選任し、作業に従事する労働者は特別教育の修了者とする。
- ☒ 6. 本工事の施工に当たり、新型コロナウイルス感染症等の感染防止対策に十分配慮すること。

工事用道路関係

- ☑ 1. 工事用機材の搬入路、使用期間等については、隣地に迷惑がかからぬよう必要な措置を講ずること。又、事前に計画書を作成し、監督職員の許可を受けること。
- ☑ 2. 工事専用出入口を設け、関連業者、新規入場者に限定した出入口の使用を徹底するなど、経路を明確化すること。
- ☑ 3. 当該工事による原因で道路及び付属施設等を破損した場合や汚した場合は、受注者の負担にて復旧すること。

仮設備関係

- ☑ 1. 仮設水道・仮設事務所・資材置場等については、仮設計画書にて事前に許可を受けること。
- ☑ 2. 仮設水道・電気使用料については、竣工検査合格まで受注者負担とする。
- ☑ 3. 現場内の防犯、防災対策に最大限努めること。
- ☑ 4. 請負金額等を標示板等により建設工事現場に表示するなど、場内外でのイメージアップを図ること。
- ☑ 5. 健康増進法の規定に基づき、受動喫煙防止対策に十分配慮すること。

残土・産業廃棄物関係

- ☑ 1. 本工事の建設発生土は、場内処理とする。処分の必要となる残土が発生した場合は、監督職員と協議の上、処分方法を決定すること。また、宅地造成及び特定盛土等規制法、並びに群馬県土砂等による埋立て等の規制に関する条例に従い、適正に対応すること。
- ☑ 2. 産業廃棄物は、マニフェスト管理を行い伝票の整理保管をすること。また、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき処理をすること。
- ☑ 3. 本工事の発生品・発生材（ダンボール・包装用ビニール袋・配管切り屑・外部への飛散の恐れのある物）等については、整理・整頓して適時に処理をすること。また、資源の有効な利用の促進に関する法律、及びプラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律により、分別収集・再資源化等の措置を講ずるよう努めること。

工事支障物件等

- ☑ 1. 工事支障物を発見した場合、監督職員と協議を行い対応すること。
- ☑ 2. 配管等の埋設物の配置について、必要な調査を行うこと。また、埋設物に十分注意して施工すること。なお、文化財その他埋蔵物の取り扱いには十分注意し、発見した場合は直ちに工事を中止し監督職員の指示を仰ぐこと。
- 3. 構造体への穴あけ等がある場合は、鉄筋など埋設物の探査を行った上、監督職員と事前に位置等を協議すること。なお、梁や柱の貫通等は禁止とする。

給排水関係

- ☑ 1. 給水・排水等の接続については、隣地に迷惑がかからぬよう必要な措置を講じること。
- ☑ 2. 工事における排水、砂及び泥等は工事場内で処理すること。

試験・検査

- ☑ 1. 公共建築工事標準仕様書（建築・電気・機械設備工事編）【国土交通大臣官房官庁営繕部監修】最新版に基づき、それぞれ試験及び検査を実施すること。
- ☑ 2. 工事完成後に建築課の下検査を行う。

石綿製品の取り扱い

- ☒ 1. 施工にあたっては、石綿の含有された材料及び製品を一切使用しないこと。
- ☒ 2. 建築物の改修、解体等の作業の前に工事対象となる全ての部材について石綿の使用の有無の事前調査を行い、発注者に対し調査結果を書面で説明し工事場所に掲示すること。

発注者予備調査状況	☒ 済	
	☐ 一部実施済	()
	☐ その他	()
石綿含有調査状況	レベル 1	
	☐ 有	()
	☒ 無	()
	☐ みなし有	()
	☐ その他	()
	レベル 2	
	☐ 有	()
	☒ 無	()
	☐ みなし有	()
	☐ その他	()
	レベル 3	
	☒ 有	(フレキシブルボート(軒天), 臭突管)
	☐ 無	()
	☐ みなし有	()
	☐ その他	()

- ☒ 3. 上記より石綿を含む廃棄物の処理を伴う場合は、大気汚染防止法の規定より、廃棄物処理法に従い、特別管理産業廃棄物管理責任者を受注者より選任するなど、必要な対応を行うこと。

建設工事保険関係

- ☒ 1. 本工事に対して自己の責任で建設工事保険（火災保険を含む）に加入し、その写しを提出又は提示すること。なお、消防法に基づく火災の危険性が高い物質等の取り扱いには十分注意する。

その他

- ☒ 1. 伊勢崎市建築課工事監理マニュアル最新版に従い、実施工程表及び施工計画書等の必要書類を速やかに提出すること。
- ☒ 2. 工事請負代金金額 500 万円以上のときは、(財)日本建設情報総合センターに工事实績情報を登録し、登録内容確認書の写しを監督職員に提出すること。
- ☒ 3. 受注者は、建設副産物実態調査の対象となる変更後の工事請負代金金額が 100 万円以上である場合、「建設副産物情報交換システム」により登録した登録証明書（計画・実施）を提出すること。
- ☒ 4. 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律により、対応を行うこと。
- ☒ 5. デジタル工事写真の小黑板情報電子化を行う場合は、施工計画書等にて使用機器・ソフト及び改ざん検知機能等を明示し、監督職員の承諾を得ること。
- ☐ 6. 本工事における現場代理人の兼務については認めないものとする。

- ☑ 7. 落札者（随意契約の場合にあつては、契約の相手方）は、建設業法（昭和24年法律第100号）第20条の2第2項の規定に基づき、工期又は請負代金の額に影響を及ぼす事象が発生するおそれがあると認めるときは、落札決定（随意契約の場合にあつては、契約の相手方の決定）から請負契約を締結するまでの間に、発注者に対して、その旨を当該事象の状況の把握のため必要な情報と併せて通知しなければならない。

- ☑ 8. 本工事は「週休2日制現場（発注者指定型）」の実施対象工事である。群馬県「営繕工事における週休2日促進工事実施要領」を準用し工事を実施すること。なお、兼務工事がある場合は、統合した週休2日実施計画を作成して提出する。作成できない場合は、兼務そのものを認めない。

令和 8 年度

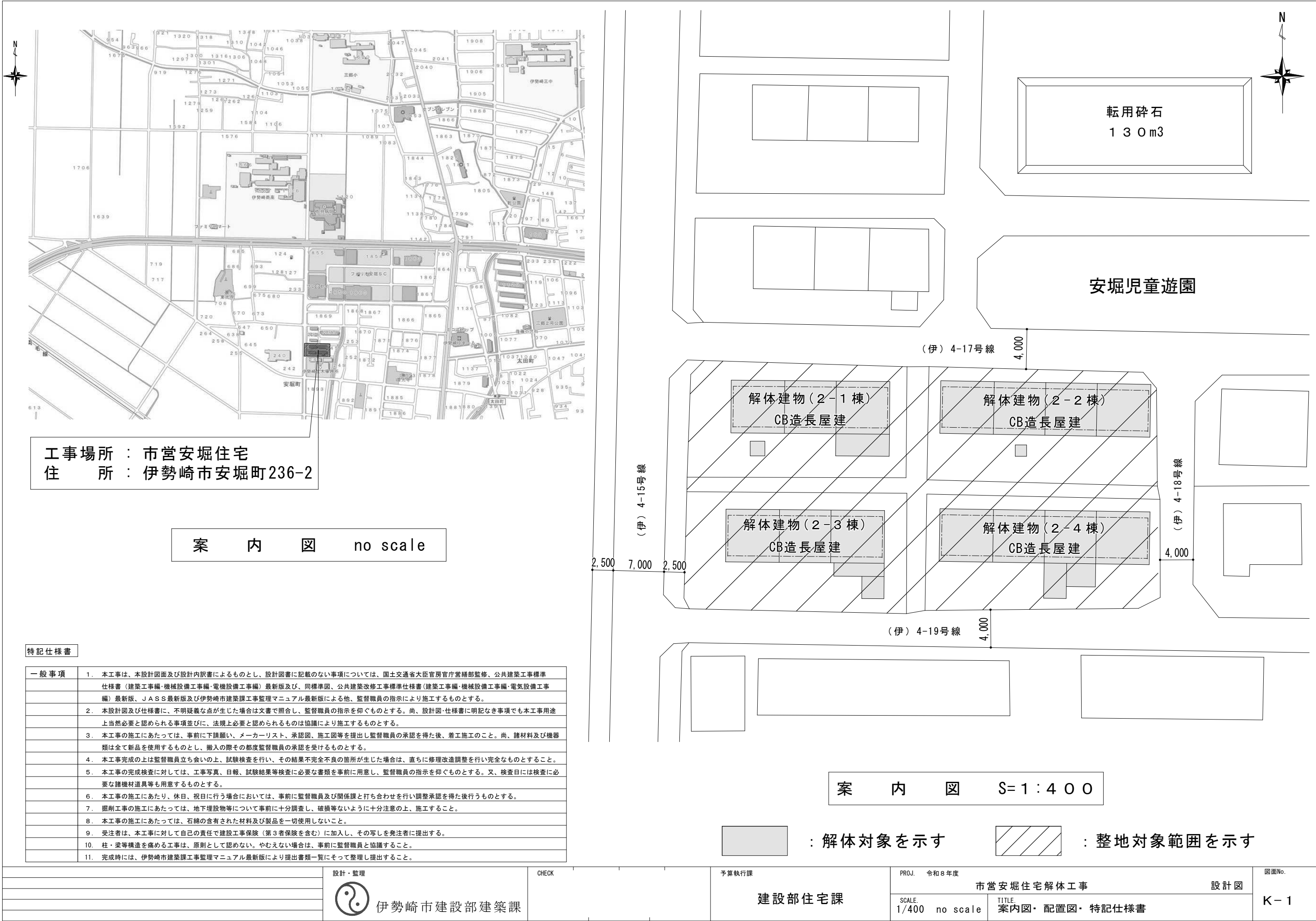
市営安堀住宅解体工事

予算執行課

建設部住宅課

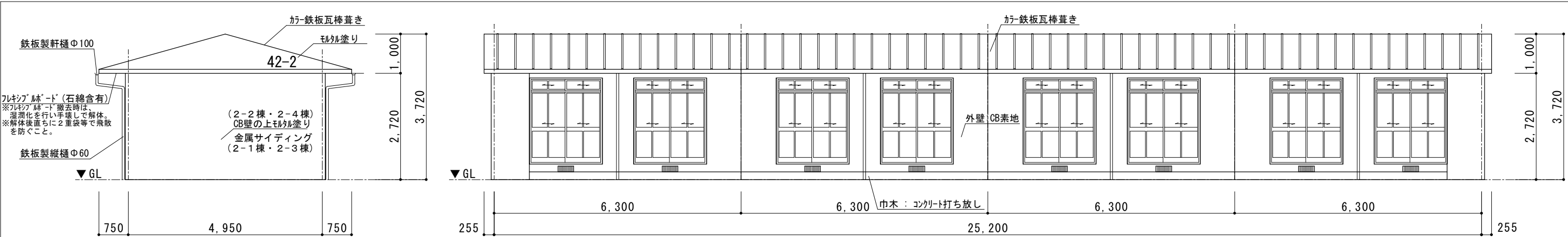
設計・監理

建設部建築課



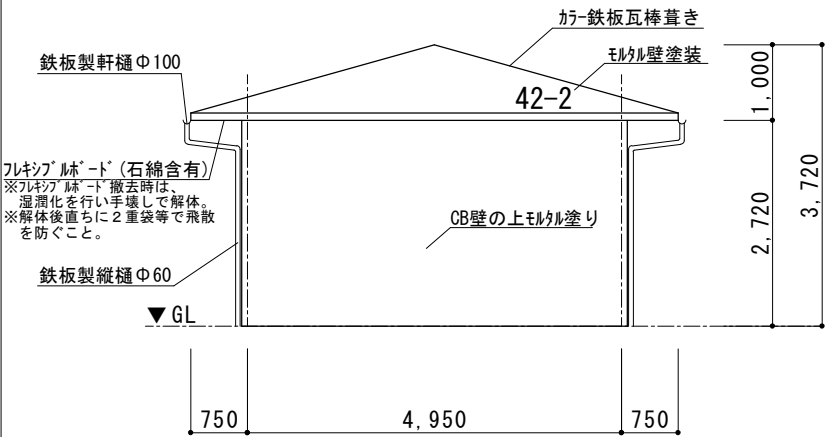
特記仕様書

一般事項	1. 本工事は、本設計図面及び設計内訳書によるものとし、設計図書に記載のない事項については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書（建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編）最新版及び、同標準図、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編・機械設備工事編・電気設備工事編）最新版、J A S S最新版及び伊勢崎市建築課工事監理マニュアル最新版による他、監督職員の指示により施工するものとする。
	2. 本設計図及び仕様書に、不明疑義な点が生じた場合は文書で照合し、監督職員の指示を仰ぐものとする。尚、設計図・仕様書に明記なき事項でも本工事事用上当然必要と認められる事項並びに、法規上必要と認められるものは協議により施工するものとする。
	3. 本工事の施工にあたっては、事前に下請願い、メーカーリスト、承認図、施工図等を提出し監督職員の承認を得た後、着工施工のこと。尚、諸材料及び機器類は全て新品を使用するものとし、搬入の際その都度監督職員の承認を受けるものとする。
	4. 本工事完成の上は監督職員立ち会いの上、試験検査を行い、その結果不完全不良の箇所が生じた場合は、直ちに修理改造調整を行い完全なものとする。
	5. 本工事の完成検査に対しては、工事写真、日報、試験結果等検査に必要な書類を事前に用意し、監督職員の指示を仰ぐものとする。又、検査日には検査に必要な諸機材道具等も用意するものとする。
	6. 本工事の施工にあたり、休日、祝日に行う場合においては、事前に監督職員及び関係課と打ち合わせを行い調整承認を得た後行うものとする。
	7. 掘削工事の施工にあたっては、地下埋設物等について事前に十分調査し、破損等ないように十分注意の上、施工すること。
	8. 本工事の施工にあたっては、石綿の含有された材料及び製品を一切使用しないこと。
	9. 受注者は、本工事に対して自己の責任で建設工事保険（第3者保険を含む）に加入し、その写しを発注者に提出する。
	10. 柱・梁等構造を痛める工事は、原則として認めない。やむえない場合は、事前に監督職員と協議すること。
	11. 完成時には、伊勢崎市建築課工事監理マニュアル最新版により提出書類一覧にそって整理し提出すること。

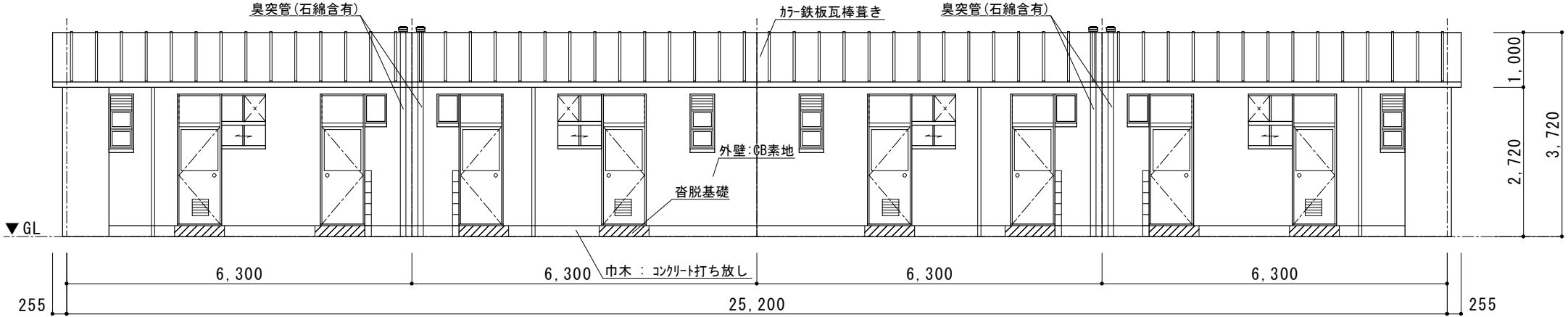


西面立面図（共通） S=1:100

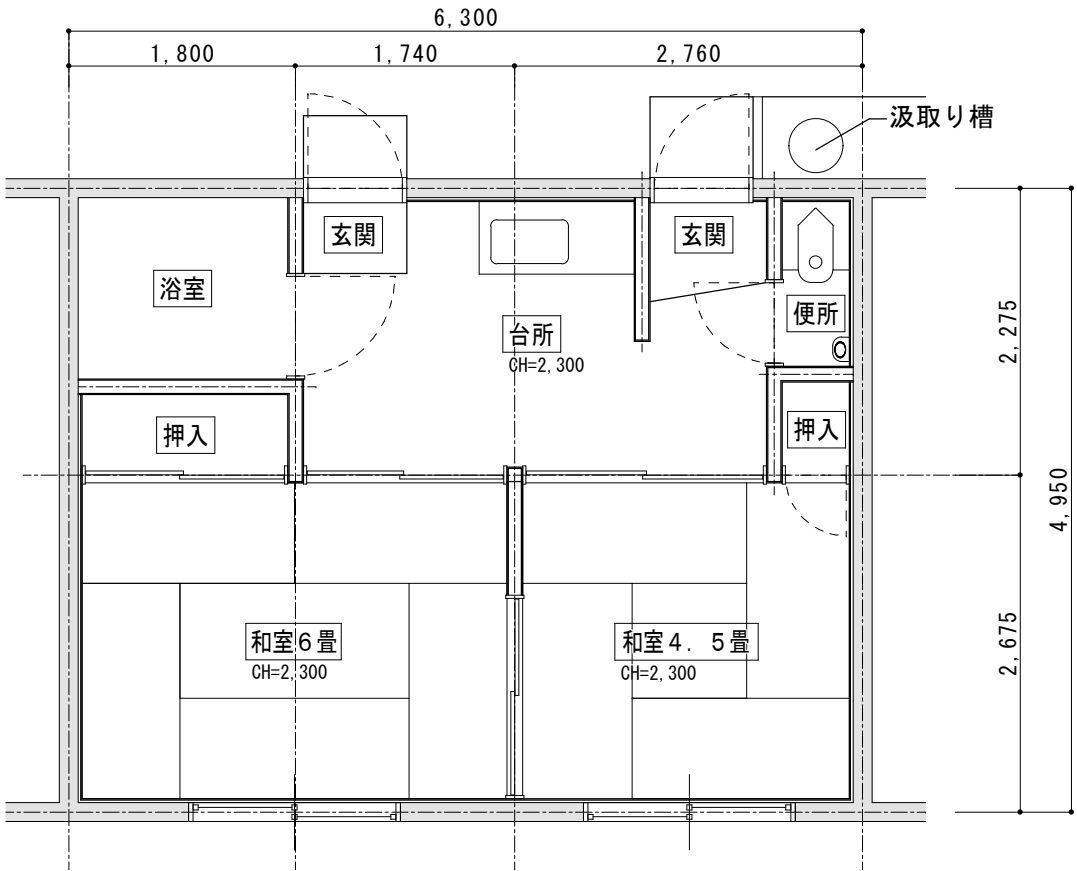
南面立面図 S=1:100



東面立面図（共通） S=1:100



北面立面図 S=1:100



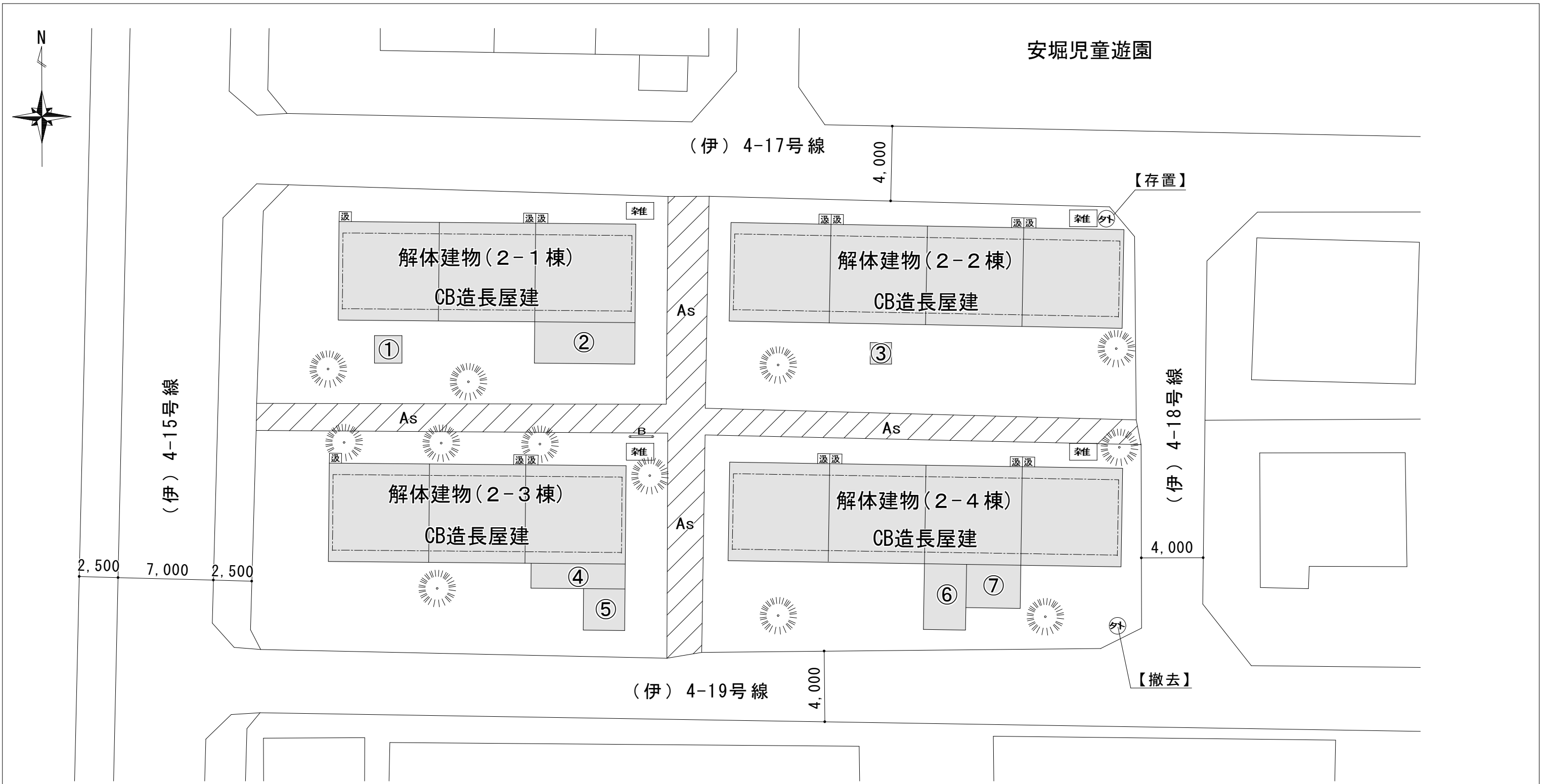
平面図（共通） S=1:60

面積表	
棟名	延べ床面積
2-1棟	93.5㎡
2-2棟	124.5㎡
2-3棟	93.5㎡
2-4棟	124.5㎡

外部仕上表	
箇所	仕上
屋根	ガル鉄板瓦棒葺き
軒天	フレキシブルボード（石綿含有）
外壁	CB壁素地 CB壁の上モルタル塗り
巾木	コンクリート打放し
軒樋	鉄板製軒樋 φ100
縦樋	鉄板製縦樋 φ60
臭突管	スレート管 φ100（石綿含有）

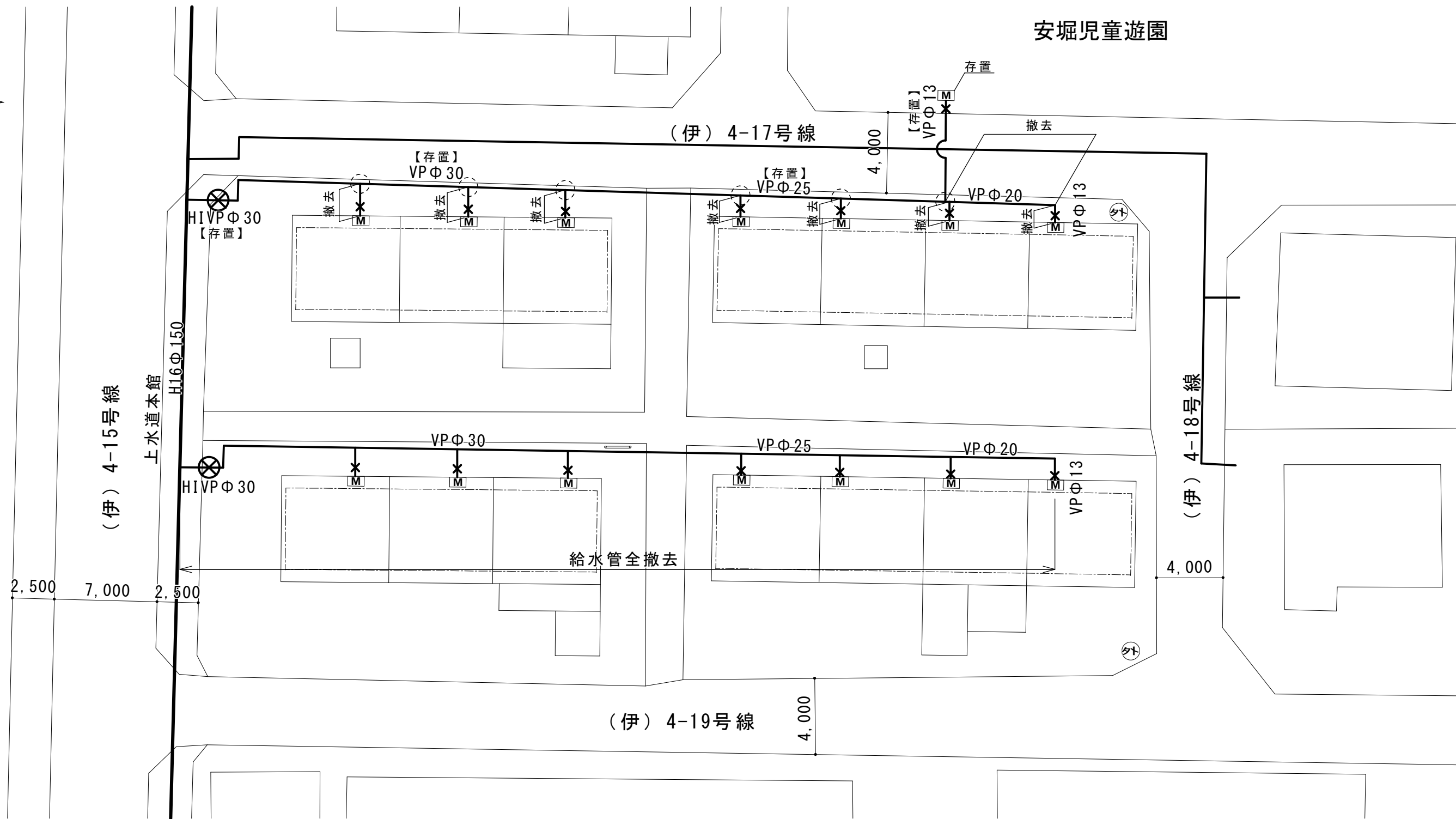
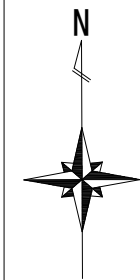
内部仕上表					
室名	床		巾木	壁	
玄関	コンクリート下地	モルタル金コテ	モルタル巾木	木組下地	ア9mm石膏ボード+AEP塗
浴室	コンクリート下地	モルタル金コテ	モルタル巾木	CB下地	AEP塗
便所	木組下地	ビニル床シート	木製巾木	木組下地	ア9mm石膏ボード+AEP塗
台所	木組下地	フローリング	木製巾木	木組下地	ア9mm石膏ボード+AEP塗
		クッションフロア			
和室	木組下地	畳敷き	畳寄せ	木組下地	ア9mm石膏ボード+AEP塗
押入	木組下地	ア5.5mmラワンペニヤ	木製巾木	木組下地	ア3mmペニヤ板

* 工事期間中、仮囲いを設置すること。



外構撤去項目凡例	
	樹木：伐採・伐根
	雑排水処理槽
	汲取り槽
	バリカー横型
	外灯（南東のみ撤去）
	アスファルト舗装

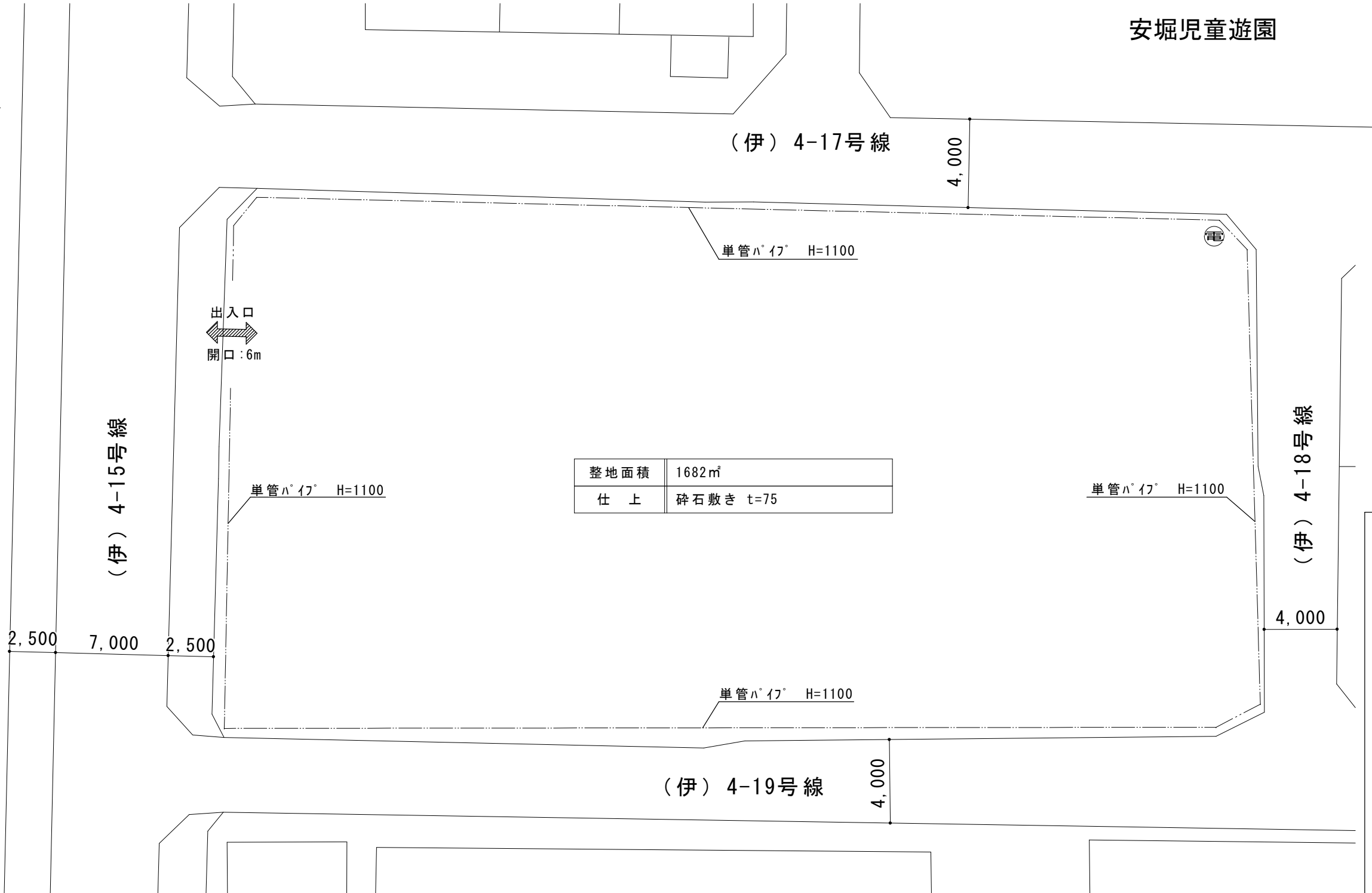
外部物置等撤去項目		
No.	名 称	建 物 寸 法
①	木造 波板張り 倉庫	1,800×1,800×H2,000
②	木造 波板張り 庇	6,300×2,700×H2,700
③	木造 合板張り 倉庫	1,400×1,400×H1,000
④	木造 波板張り テラス	6,150×1,630×H2,700
⑤	軽量鉄骨造 金属サイディング張り 倉庫	2,710×2,710×H2,400
⑥	木造 サイディング張り テラス	2,750×4,300×H2,700
⑦	木造 波板張り 庇	3,550×2,800×H2,700



凡 例	
M	量水器ボックス
⊗	給水管分水止め
×	止水栓
○	既設T字管撤去及び直管への修復箇所

※分水止めの位置については事前に水道局へ相談すること
※水道使用廃止届を水道局に提出すること

	設計・監理	CHECK	予算執行課	PROJ. 令和 8 年度		図面No.	
	 伊勢崎市建設部建築課			市営安堀住宅解体工事			設計図
				SCALE. 1/250			TITLE. 外部給水設備配置図



パイプキャップ

単管ハ イ 48.6φ L=3000

直交クランプ・キャップ共

単管ハ イ 48.6φ L=1500 @3000

単管ハ イ 48.6φ L=3000

直交クランプ・キャップ共

▽G L

くい打ち金具先端

オレンジ ネット H=1000

100

700

1,100

300

400